



# からたち 囲碁新聞

2014年9月2日発行  
学校法人からたち幼稚園



# からたち教諭棋聖戦開催

## 大物からたち幼稚園 玉田教諭が優勝



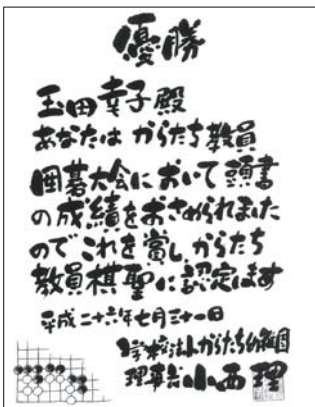
### からたち幼稚園第一回教諭囲碁大会 からたち教諭棋聖戦

平成二十六年七月三十一日(木)、からたち幼稚園教員における『第一回教諭囲碁大会』が実施された。大物からたち幼稚園・武庫からたち幼稚園・武庫東からたち幼稚園の三園の教諭ら総勢五十七名がエントリーし、各園でトーナメント戦を実施した。そして、各園にてトーナメント戦を制した代表選手同士が同日バンダネットを使用した『ネット碁』により決勝戦(巴戦)を実施し雌雄を決した。

①…使用する碁盤は、九路盤。  
②…各園でトーナメント戦を実施。  
③…②のトーナメント戦勝利者一名が各園より代表選手として決勝戦に進出。  
④…各園代表選手はタブレットパソコン(バンダネット)で巴戦により対局し、優勝・準優勝・準々優勝を決する。  
⑤…④の者には賞状を進呈。  
⑥…④のうち優勝者はタイトル『からたち教諭棋聖』を名乗ること(タイトルホルダー)ができ、副賞としてお菓子の話合せを進呈。  
⑦…対局は全て互い戦、コミ六目半、両者とも黒番・白番をもち二局は必ず打つ。一勝一敗の場合、握って先番を決め最終局を打ち、勝った方が勝者となる。

決勝戦を制し優勝し栄えあるタイトルホルダーに輝いたのは、大物からたち幼稚園の玉田幸子副主任教諭であった。保子園長より賞状と副賞を笑顔で受け取った。また、大物教諭全員が勝

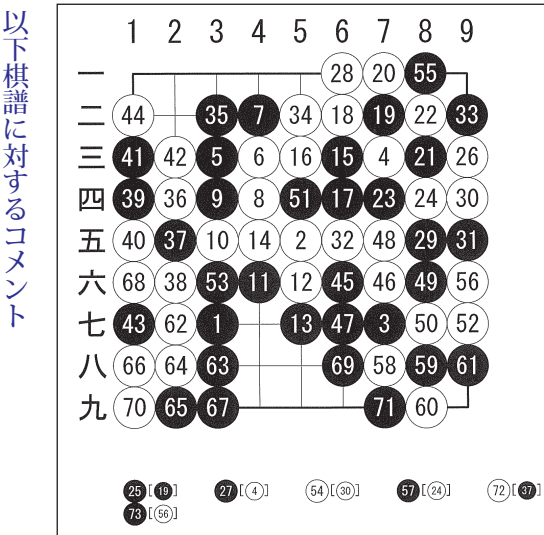
利の悦びに酔いしれた。準優勝は、武庫からたち幼稚園の久保希望教諭。準々優勝は、武庫東からたち幼稚園の松井聡奈教諭。今般の大会の目的とするところは、教員の囲碁への理解を深め、棋力を高め、教材に対する理解を深める為であった。それと同時に二学期以降の三園間の園児らによるネット碁の予行演習の目的を兼ねたものであった。



↑玉田教諭が受賞した賞状

### 火花を散らした決勝戦

初戦の「玉田教諭 VS 久保教諭」においては、二勝〇敗で玉田教諭が勝利し、第二戦「玉田教諭 VS 松井教諭」は二勝一敗で玉田教諭が優勝した。第三戦「久保教諭 VS 松井教諭」は二勝〇敗で久保教諭が勝利し準優勝を獲得した。



↑黒：玉田教諭、白：松井教諭、白1目半勝

以下棋譜に対するコメント  
白2は天元に打つ強い手、しかし黒に初手、黒3、黒5と三隅3・3に取られたのでは白6は消極的過ぎ。白10か黒13に割って入るくらい積極的に攻めなくてはならなかった。白16は本当は白34。白28は着手ミス、白28は白34。ここまでの進行で完全に黒の勝利。ところが黒35がいけない、白38と打つべきであった。更に黒37は着手ミス、白38と打つべき。続く黒41も打つてはならない手。白44は疑問手。黒43は白62。黒45は白46か白62。黒51はパスと同じ。白52もパス。黒53は白62。白54は黒55。黒が白62を放置していたのが逆転負けの要因となった。白68から黒73と黒75は余計な手入れになっている。

